

「学校現場における 関わり困難な子どもへの 理解と支援」

関わりの難しいこどもを理解し適切な対応方法と支援方法の一助とします

参加費：会員無料/非会員1500円/人



発達障害をはじめ、子どもたちの特性を表すさまざまな言葉を耳にする機会が増えています。子ども一人ひとりがもつ特性や背景を理解することは、支援員が適切に関わるうえで欠かせない視点です。「なぜその行動が起きているのか」「その子は何に困っているのか」と考えることで、対応や支援の質は大きく変わります。こどもとの「適切な対応」とは、一定の関わり方を押し付けることではなく、場面や状況に応じて距離感を調整し、安心・安全な学校生活を支えることです。本研修では、こどもの感情や行動の背景を理解し、必要な対応について学びます。

開催日 2026.02.14(土)13:30~15:30 (受付:13:00)

場所 ソレイユプラザなごや12階

対象者 支援員/保護者/関係者等50名（申込必要・先着順）会員無料/会員外1,000円

申込締切 2026.02.07(土)17:00まで

講師紹介

佐々木大樹氏（東海学園大学心理学部心理学科 准教授）

- ・大阪大学人間科学部卒業
- ・中京大学大学院心理学研究科 臨床・発達心理学専攻修士課程 修了
- ・京都大学大学院 教育学研究科 臨床教育学専攻博士課程 修了
- ・民間企業・地方自治体知職員を経て現職

主な著書

◆佐々木大樹（2025）児童福祉領域における見立てと支援. 高橋靖恵（監修）西見奈子（編）心理臨床における「見立て」

こころの支援にむけて見立ての本質的意味を探究する. 福村出版. pp140-152.

◆佐々木大樹（2016）児童相談所臨床における安全と安心. 田嶽誠一（編著）現実に介入しつつ心に関わる〔展開編〕金剛出版. pp252-263.

NPO法人ディスレクシア協会名古屋

申込方法

チラシ中央部にあるQRコードもしくはメルマガ記載のURLをご利用ください
問合せ 事務局 (jimu@dyslexia-nagoya.org) まで問い合わせください
Instagram・ホームページでもチラシをチェックできます



この学習会は朝日新聞厚生事業団の「発達障がい」と共に生きる豊かな地域生活応援助成を活用しています